

いのちを大切にす政治

鳩山 3 党連立政権が発足してから初めての「憲法記念日」をもうすぐ迎えます。

格差と貧困の広がりへの国民の怒りが、昨年の政権交代を実現させ、「生活再建」「生活が第一」を掲げる現政権を誕生させました。憲法25条の生存権を実現する「いのちを大切にす政治」をさらに押し進めるために、社民党は一層奮闘することを約束します。

沖縄の基地負担軽減訴え

旧自公政権が、憲法 9 条を踏みにじって米国の戦争に協力するため自衛隊を海外に出し、また、憲法を変えようという動きを強めてきたことも国民の不安を大きくかきたてました。国民は戦争協力や改憲を望んでいません。

今年には 1960 年の日米安保条約改定から 50 年の節目の年。社民党は、沖縄県民に押しつけられた米軍基地負担の軽減を訴えます。そして、日米関係を「軍事同盟」ではない真の平和友好関係に発展させていくことを追求します。

憲法を実現する政治

「非核三原則」の法制化を

旧政権が、密約を結んで米軍による核兵器の日本持ち込みを容認してきたことがはつきりしました。長い間、国民にウソをついていたのです。社民党は、被爆国・日本の国是である「非核三原則」の法制化を求めます。

「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」。この憲法前文の言葉は、まさに今の日本の課題です。社民党は「憲法を実現する政治」をめざします。



社民党